

平成28年度 公共事業再評価調書

(区分) 国補・県単

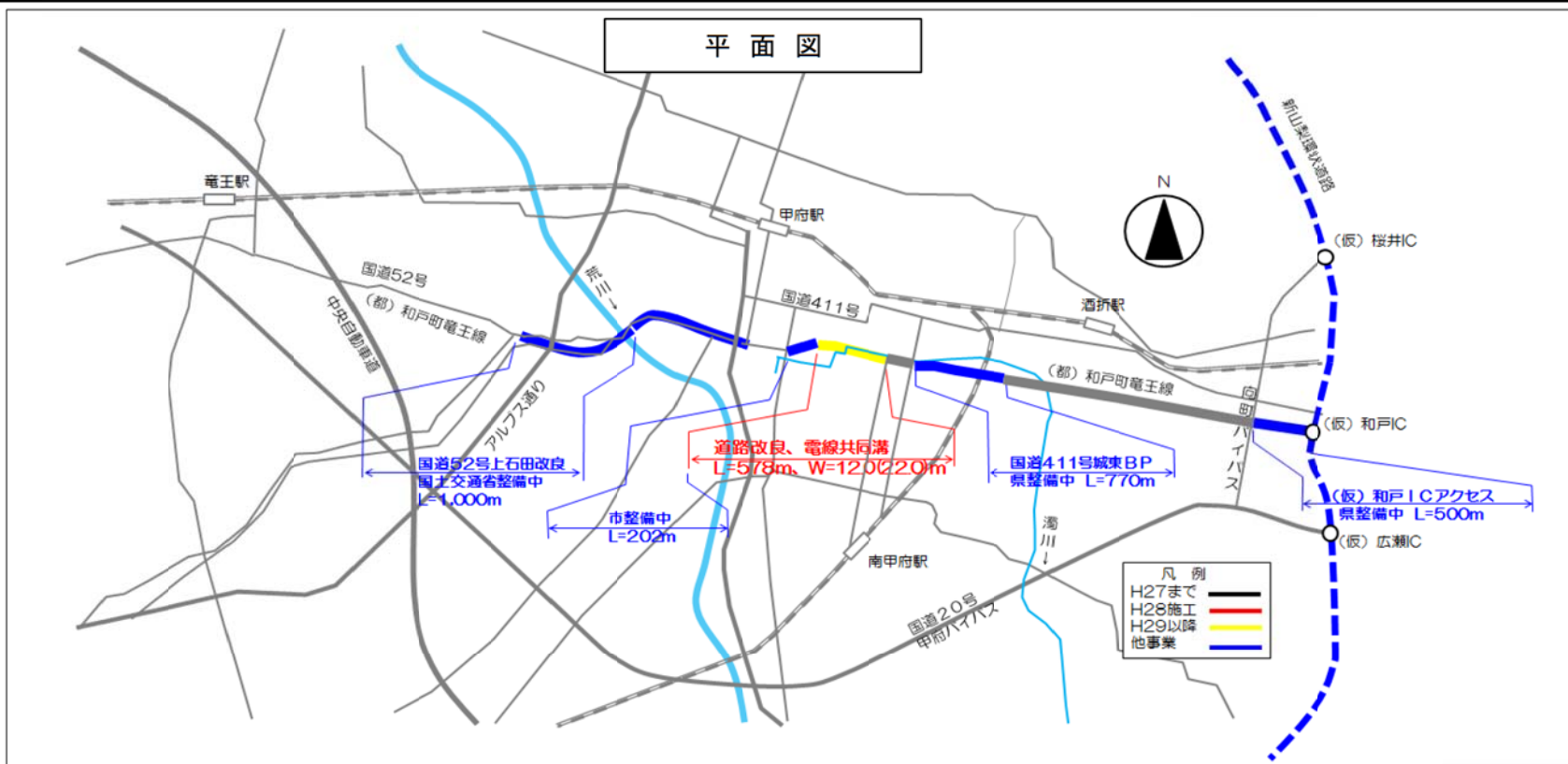
1. 再評価調書

事業名	街路事業〔緊急街路整備事業（国補）〕		事業箇所	甲府市城東～中央5丁目	地区名	（都）和戸町竜王線	事業主体	山梨県
	当初計画	現計画	今回見直し予定		<b>⑤再評価時等の評価状況</b> 「平成23年度事前評価」 この事業は、都市計画道路和戸町竜王線の甲府市城東から中央5丁目において、市街地内の交通の円滑化を主要目標に4車線道路を整備する街路事業である。 甲府市の中心市街地においては交通網が脆弱なため、慢性的な渋滞が発生しており、渋滞の解消や中心市街地へのアクセス強化のため、これまで、甲府市の中心市街地を東西に貫く都市計画道路和戸町竜王線は、国、県及び甲府市により整備が進められてきている。 この街路の整備により、中心市街地の渋滞緩和や甲府市中心部へのアクセス強化が図られ、また、道路の両側の広幅員の歩道や、街路整備と一体的に整備される電線類の地中化により、歩行者等の安全の確保や良好な都市景観の形成が図られることが期待できる。また、一級河川濁川と隣接する一部区間については、濁川改修事業と一体的に整備を進めることで、治水上の安全性の向上にも資する事業であると評価でき、実施が妥当である。 なお、本事業整備区間における用地確保および用地補償は、本事業の事業費と事業期間に大きく影響すると想定されることから、地元の合意形成を図りながら事業整備効果の着実な発現とそのための時間管理に努められたい。			
計画期間	H24年度～H32年度	—	H24年度～H37年度					
総事業費	5,392百万円	—	—					
<b>(1) 事業の概要</b>								
<b>①事業目的及び効果</b>								
都市計画道路 和戸町竜王線は、甲府市和戸町を起点とし、甲斐市新堰橋の国道20号に至る4車線の幹線道路であり、今後建設が予定されている新山梨環状道路(仮称)和戸ICと接続予定である等、県内道路ネットワークを構成する重要な路線の一つである。延長9,580mのうち約3,270m(34%)が完成し、3,246m(33%)が事業中である。甲府中心市街地は公共交通機関が脆弱な中で、マイカーや業務用車両等、自動車交通によるアクセスが悪く、郊外居住や人口減少により空洞化が進んでいる。このため和戸町竜王線を整備し、甲府都市圏の道路ネットワークを形成して、アクセス性の向上を図り中心市街地の都市としての機能を再構築することが重要である。また濁川改修事業と一体的に整備することで都市防災機能の強化も図られる。								
<b>②事業概要</b>								
道路改良 L=578m W=12.0(22.0)m 車道幅員 12.0m(4車線) 歩道幅員 4.0m(両側) 電線共同溝 L=578m								
<b>③現計画の全体計画（今回の再評価で変更する前の内容）</b>								
	平成27年度まで	平成28年度 (評価実施年度)	平成29年度以降		<b>①地域・住民の意向状況</b> なし <b>②産業・経済情勢</b> なし <b>③国等の方針変更</b> 平成28年度に地域高規格道路ICアクセス道路補助制度が創設された。また、新山梨環状道路(広瀬～桜井)の約2km区間が平成28年度に新規事業化となった。 <b>④上位計画・関連事業計画等の変更</b> 「ダイナミックやまなし総合計画」(平成27年12月策定) 「山梨県強靱化計画」(平成27年12月策定) 「山梨県社会資本整備重点計画-第三次-」(平成27年12月)			
工事内容	測量設計 調査 用地取得・補償	用地取得・補償	用地取得・補償 道路改良 L=578m 電線共同溝 L=578m 舗装工 L=578m 補償					
事業費	1,934百万円	700百万円	2,758百万円					
<b>④特記事項</b>								
今後建設が予定されている新山梨環状道路北部区間(仮称)和戸ICへのアクセス道路となる予定である。 関連事業 国道411号城東バイパス・(仮)和戸ICアクセス、濁川改修 国道52号上石田改良、新山梨環状道路北部区間								
<b>(2) 評価項目〔事業を巡る社会経済情勢等の変化〕</b> (今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容)								
<b>(3) 評価項目〔再評価時点の費用対効果分析〕</b>								
<ul style="list-style-type: none"> <li>事業採択時計画における事業全体B/C(平成23年度) 便益(B)/費用(C)=1.8&gt;1.0</li> <li>再評価時計画における事業全体B/C(平成28年度) 便益(B)/費用(C)=1.9&gt;1.0 (国土交通省費用便益分析マニュアルにより算出した場合、1.8) ※電線共同溝は便益が算出できないため経済効率性の算定対象としていない。</li> </ul>								

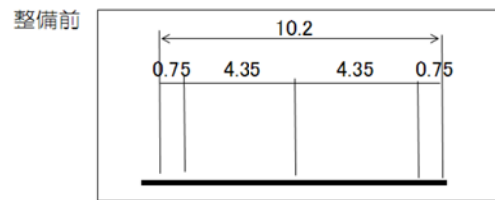
## 2. 再評価調書

<p>(4) 評価項目 [事業の進捗状況及び見込み]</p> <p>①これまでの計画変更等の概要 なし</p> <p>②施行済みの事業内容（(1)）③「全体計画」に記載した内容と比較</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <tr> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 35%;">平成27年度まで</td> <td style="width: 50%;">平成28年度 (評価実施年度)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">工事内容</td> <td>測量設計 調査 用地取得・補償</td> <td>用地取得・補償</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">事業費</td> <td style="text-align: center;">215百万円</td> <td style="text-align: center;">40百万円</td> </tr> </table> <p>③進捗率（現計画に対する実績）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <tr> <td></td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>H31</td> <td>H32</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計 画</td> <td style="text-align: center;">0.7</td> <td style="text-align: center;">10.6</td> <td style="text-align: center;">24.5</td> <td style="text-align: center;">38.4</td> <td style="text-align: center;">52.3</td> <td style="text-align: center;">66.2</td> <td style="text-align: center;">80.1</td> <td style="text-align: center;">94.0</td> <td style="text-align: center;">100.0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">実 績</td> <td style="text-align: center;">0.4</td> <td style="text-align: center;">1.1</td> <td style="text-align: center;">3.1</td> <td style="text-align: center;">4.0</td> <td style="text-align: center;">4.7</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <tr> <td style="width: 15%;"></td> <td style="text-align: center;">算出方法</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計 画</td> <td>計画事業費／総事業費×100</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">実 績</td> <td>実施事業費／総事業費×100</td> </tr> </table> <p>H28年度実績は見込み。</p> <p>④事業の進捗が順調でない理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業は、濁川河川改修事業と一体的に行う必要があることから、関係機関との調整に多くの時間を要したことに加え、事業対象地に筆界未定地があるなど、地権者個人との交渉に至っていないことによる。平成28年度現時点での用地の取得率は2/155件で1.3%であり、未契約者は153件である。</li> </ul>		平成27年度まで	平成28年度 (評価実施年度)	工事内容	測量設計 調査 用地取得・補償	用地取得・補償	事業費	215百万円	40百万円		H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	計 画	0.7	10.6	24.5	38.4	52.3	66.2	80.1	94.0	100.0	実 績	0.4	1.1	3.1	4.0	4.7						算出方法	計 画	計画事業費／総事業費×100	実 績	実施事業費／総事業費×100	<p>⑤今後の事業執行上の問題点 未契約用地の取得。 甲府市と協調し、代替地の確保を行うなど、地権者との具体的な交渉を早急に進めていく。</p> <p>⑥今後の事業の進捗の見込み（計画期間について記載） 甲府市との協調により、筆界未定地の解消に目途が立ったことから、事業期間について、これまで進捗の遅れなかった5年の延長を行い、未契約用地の取得を進めて平成37年度の完成を目指す。</p> <p>⑦事業計画の変更の見込み・可能性（総事業費について記載） なし</p>
	平成27年度まで	平成28年度 (評価実施年度)																																												
工事内容	測量設計 調査 用地取得・補償	用地取得・補償																																												
事業費	215百万円	40百万円																																												
	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32																																					
計 画	0.7	10.6	24.5	38.4	52.3	66.2	80.1	94.0	100.0																																					
実 績	0.4	1.1	3.1	4.0	4.7																																									
	算出方法																																													
計 画	計画事業費／総事業費×100																																													
実 績	実施事業費／総事業費×100																																													
<p>(5) 評価項目 [環境への配慮]</p> <p>本区間の周辺は、古くから市街化されている区域であり、自然環境への影響は少ない。植栽、及び電線類の地中化を実施する計画であり、良好な生活環境を確保する予定である。</p>																																														
<p>(6) 評価項目 [コスト縮減の可能性]</p> <p>なし</p>																																														
<p>(7) 評価項目 [代替案立案の可能性]</p> <p>なし</p>																																														
<p>(8) 所管部の今後の方針     継続・<u>見直し継続</u>・その他（     ）</p> <p>(理由) 幹線道路ネットワーク、生活道路及び将来的には新山梨環状道路へのアクセス道路として重要な路線であることから、事業期間を5年延長し、平成37年度の完成を目指す。</p>																																														

### 3. 添付資料シート(1)



### 標準横断面図



省 略

### 3. 添付資料シート(2)

①現道(国道411号)の混雑状況 渋滞が連続している



②現道の混雑状況 切れ目のない渋滞。歩行者は路肩を利用



③起点側の濁川整備状況



④城東工区起点 整備済み区間(昭和59年供用)



3. 添付資料シート (3)

⑤城東工区 幅員が狭い地域内道路に濁川が平行している



⑥城東工区終点 濁川の付け替えあり



⑦中央五丁目工区 幅員が狭い地域内道路



⑧中央五丁目工区 地域内道路として機能している



